

感謝状を受け取った生徒たち＝港北署で



港北署が広報音声 中高生が呼びかけ



気をつけて 不審な電話

高校生や中学生の声で、高齢者にニセ電話詐欺への注意を呼びかける広報音声を港北署が作成した。詐欺の疑いがある不審電話がか

かってきた地域で、パトカーのスピーカーから音声を流し、被害防止を図る。

音声は三十秒～一分三十秒の三種類。息子をかたつて金をだまし取る「オレオレ詐欺」には「親族からお金を要求される電話は『詐欺だ』とまずは疑いましょう」、医療費などの還付を装う「還付金詐欺」には「区役所などがATMで医療費などの還付金手続きを行うことは絶対にありません」などと、詐欺の口口に

応じて使い分ける。

孫世代である子どもたちの声で、高齢者に注意喚起した方が効果があると考えた同署が管内の学校に協力を依頼した。横浜市港北区

の港北高校や市立中学七校の放送部や生徒会などに所属する生徒十人が参加した。生徒たちは事前に原稿を何度も読んで練習し、収録にのぞんだという。同署

は十月二十六日、生徒たちに感謝状を贈った。港北高二年の湯浅光さん(こ)は「音声に気付いてもらい、詐欺被害の防止につながればと話した。(土屋晴康)